

TOSO

パネルスクリーン

ユニティ MG

ユニティ MG **キット**

取扱説明書 No. Z-110012

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。**必ずお客様にお渡しください。**

目次

■ 安全上のご注意	2
■ 製品全体図及び部品名称	4
■ スクリーンの縫製方法	5
■ 製品の取付け/取外し方法	8
■ 操作方法	13
■ スクリーンの洗濯方法/ウォッシュابل対応スクリーンのみ	14
■ メンテナンスシール	15
■ 交換スクリーンの発注方法	16
■ お手入れ方法	17
■ 梱包材の処理方法	17

トーソー株式会社 ◎お客様相談室 **tel.03-3552-1002**
ホームページアドレス <http://www.toso.co.jp>

本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-4-9 ※この取扱説明書は再生紙を使用しています。

安全上のご注意(必ずお守りください)

※本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

- 本書では、表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。



注意

製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

- 本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。



製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。



製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■取付け上のご注意(取付け前に必ずお読みください)



警告

- 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。
- ! 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取り付けていない場合は落下の原因になります。
- ! 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。



注意

- 本製品は屋内用です。屋外へは取付けしないでください。
- 高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けしないでください。
- ! 製品は、水平に取付けてください。



■使用上のご注意(ご使用前に必ずお読みください)



警告

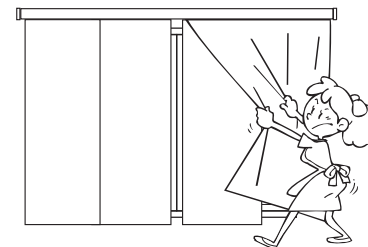
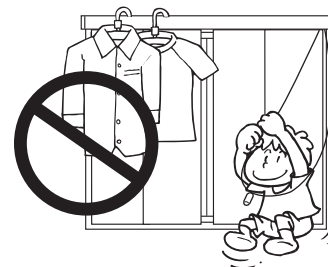
- コードやチェーンが体に巻きついたり、引っ掛かるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。
- ! 操作しない時は、お子様の手が届かない位置でコードやチェーンを束ねて、安全タッセルで留めてください。
- 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。



日本ブラインド工業会

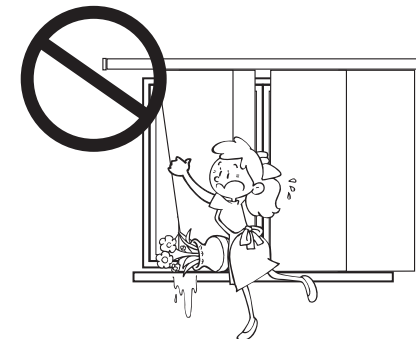
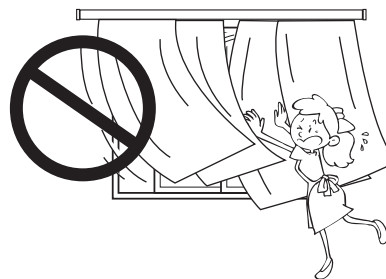


急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品の落下や、破損などの恐れがあります。

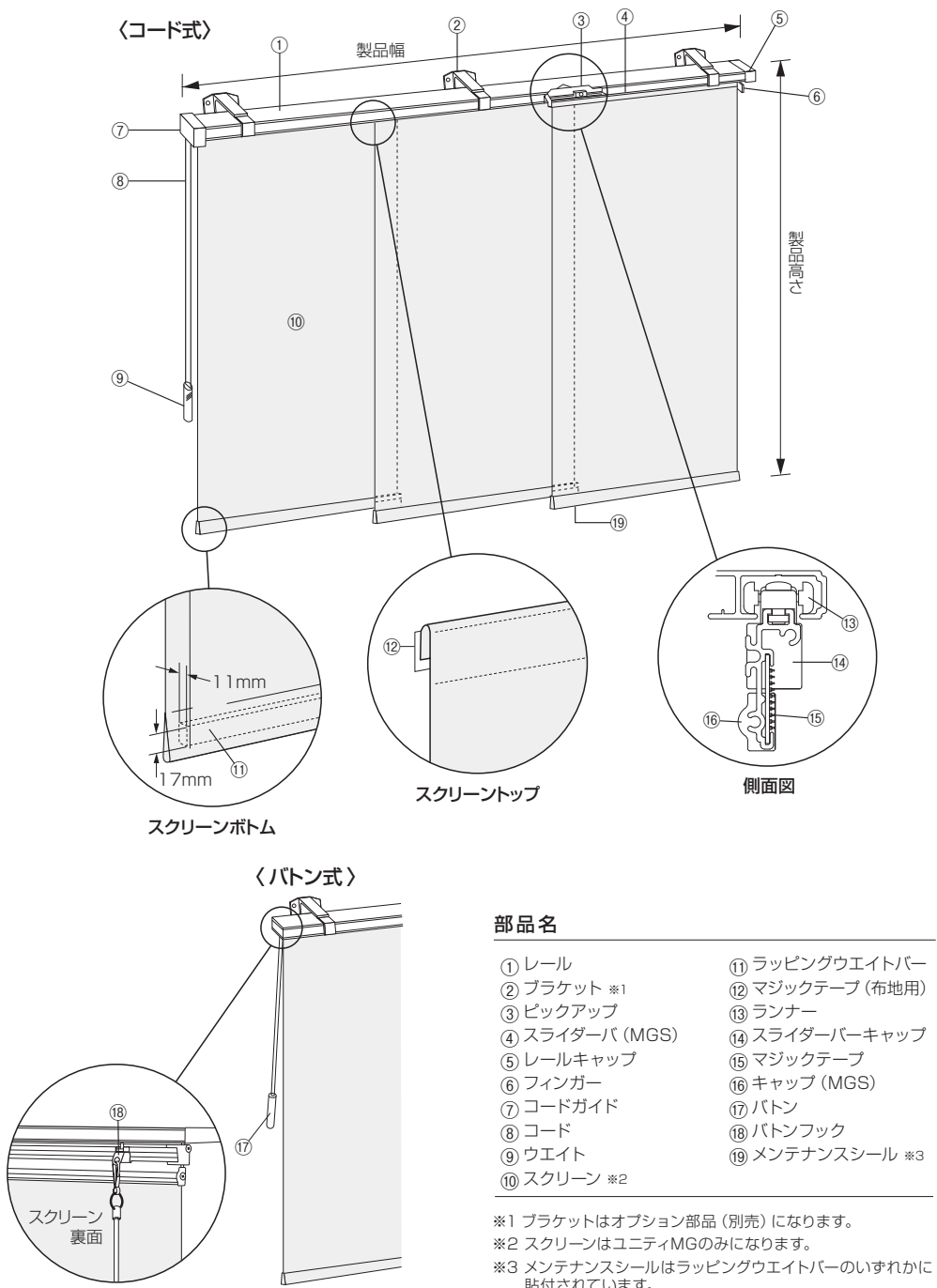


注意

- 強風の時は、必ず窓を閉めるかスクリーンを全開の状態にしてください。
- メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。
- 火のそばでのご使用は絶対におやめください。
- 必ずコード、ボタンを持って操作を行ってください。スクリーンを持って操作を行わないでください。
- 開閉動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。



製品全体図及び部品名称



■ 付属部品

部品名		取付けネジ						安全タッセル	
		 取付けネジ(サラφ3×30)							
製品幅 (mm)	駆動方式	片開き					両開き		1 個
	パネル数	※ 2	3	4	5	6	4	6	
800 ~ 1120		3 本	3 本	3 本	6 本	6 本	3 本	3 本	
~ 1620		4 本	4 本	4 本	8 本	8 本	4 本	4 本	
~ 2120		5 本	5 本	5 本	10 本	10 本	5 本	5 本	
~ 2620		6 本	6 本	6 本	12 本	12 本	6 本	6 本	
~ 3120		7 本	7 本	7 本	14 本	14 本	7 本	7 本	
~ 3620		8 本	8 本	8 本	16 本	16 本	8 本	8 本	
~ 4120		—	9 本	9 本	18 本	18 本	9 本	9 本	
~ 4620		—	10 本	10 本	20 本	20 本	10 本	10 本	
~ 5000		—	11 本	11 本	22 本	22 本	11 本	11 本	

※片開き2枚パネルはバトン式のみです。

■ オプション部品 (別売)

部品名	天井付けブラケット 2トラック用	天井付けブラケット 3・4トラック用	正面付けブラケット 2トラック用	正面付けブラケット 3・4トラック用
	製品幅 (mm)	製品幅 (mm)	製品幅 (mm)	製品幅 (mm)
800~1000	2 個	2 本	2 個	4 本
~2000	3 個	3 本	3 個	6 本
~3000	4 個	4 本	4 個	8 本
~3500	5 個	5 本	5 個	10 本
~4000	—	—	5 個	5 本
~5000	—	—	6 個	6 本

〈ユニティMGキットの場合〉

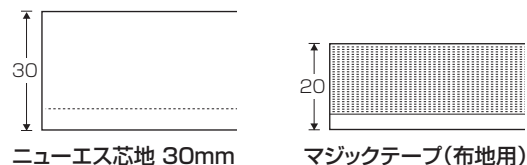
ニューエス芯地 30mm ※別売				マジックテープ (布地用) ※別売	
30	材質: ポリエステル100%	芯地収縮率		20	材質: ナイロン100%
		JIS-L-1042D法 (水洗い)	JIS-L-1018E-2法 (ドライクリーニング)		
		タテ (長さ方向)	0.0 %	0.1 %	
		ヨコ (幅方向)	0.0 %	0.0 %	

■ 製品重量 2.1kg (幅2000mm×高さ2000mmの場合)

※製品重量は、スクリーン種類によって多少異なります。

スクリーンの縫製方法 (ユニティMGキットの場合)

■ 縫製部品 (別売)



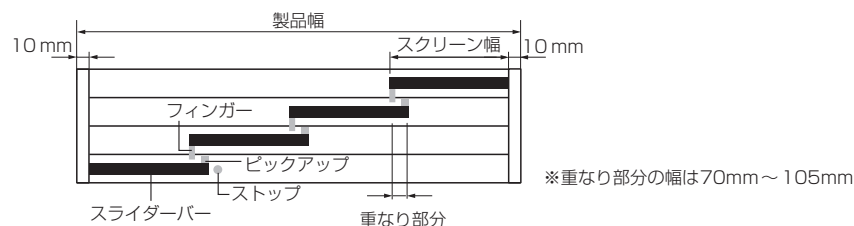
■ 1枚のスクリーン幅の計算方法

$$1 \text{ 枚のスクリーン幅} = \frac{(\text{製品幅} - 20\text{mm}) + 80 \times \text{重なり数}}{\text{スクリーン枚数}}$$

(例) 製品幅が2,400mm、スクリーンの枚数が4枚とすると、1枚のスクリーン幅は

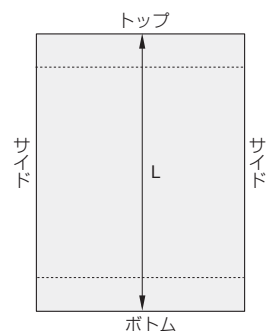
$$\frac{(2,400 - 20) + 80 \times 3}{4} = 655\text{mm} \rightarrow \boxed{650\text{mm}}$$

10mm単位になるように端数を切り捨ててください。

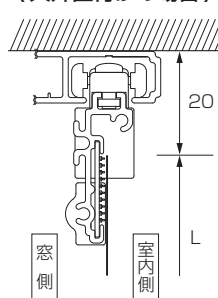


■ 縫製のポイント

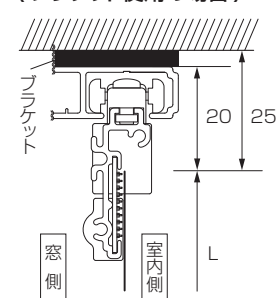
● 生地縫製の寸法



〈天井直付けの場合〉



〈ブラケット使用の場合〉

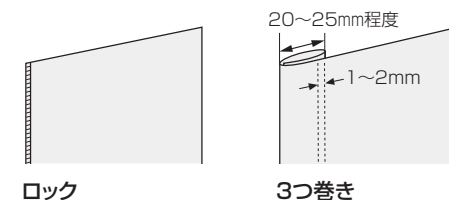


※ブラケットを使用するとレール上部の寸法が5mm加算されますのでご注意ください。

■ 縫製の方法

〈サイド処理〉

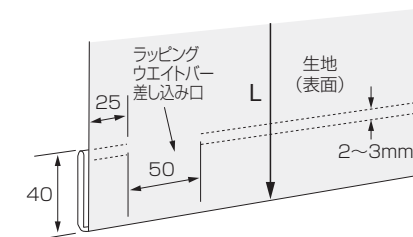
- ロック、3つ巻きなどお好みで縫製仕様をお選びください。3つ巻き縫いの場合、両サイドをそれぞれ20～25mm程度の3つ巻きにして軽くアイロンを掛けてから、内側から1～2mmの位置を1本縫いで縫い付けてください。



〈ボトム処理〉

- 生地下部を40mmの3つ巻きにして軽くアイロンをかけてから、内側から2～3mmの位置を1本縫いしてください。

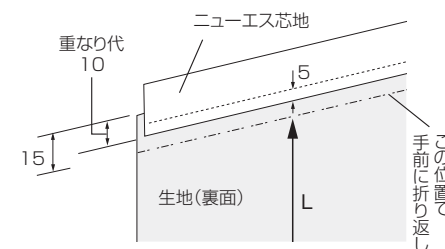
※ラッピングウエイトバーを差し込みますので、差し込み口 (図参照) を縫い付けないようにご注意ください。



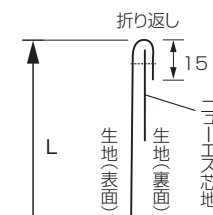
〈トップ処理〉

- ① ニューエス芯地を、生地上端部から10mm重ね、5mmの位置で縫い付けてください。

※勢いよくスクリーンを開閉した場合、スクリーンが斜めになり、吊り元をいためる恐れがあります。芯地にはこの現象を抑える効果がありますので、芯地のご使用をおすすめします。

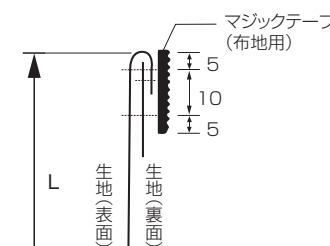


- ② 生地を裏面に折り返してください。



- ③ マジックテープ (布地用) を1枚のスクリーン幅にカットし、マジックテープ (布地用) 上・下端部5mmの位置を2ヶ所縫い付けてください。

※マジックテープ (布地用) の両端が、スクリーンからはみ出さないように注意してください。
※マジックテープの上端部と生地の上端部の位置が揃うように縫製してください。



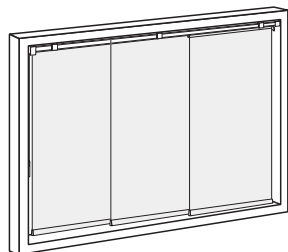
製品の取付け/取外し方法



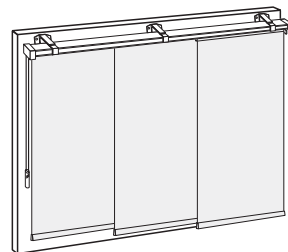
注意

付属部品の取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。

取付けの種類



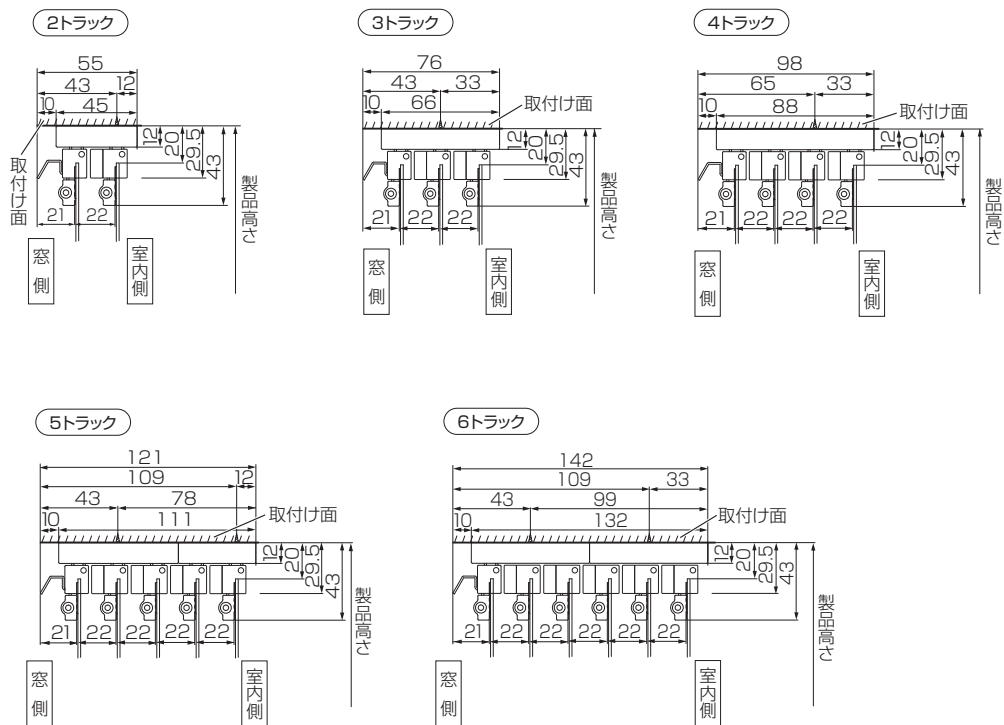
〈天井付けの場合〉



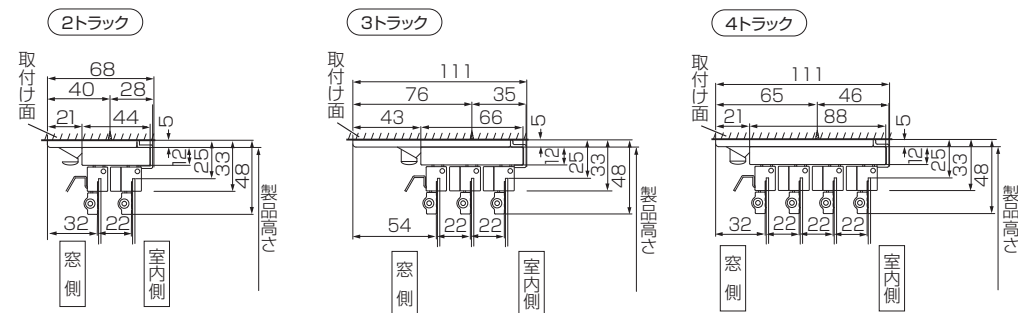
〈正面付けの場合〉

取付け寸法図(mm)

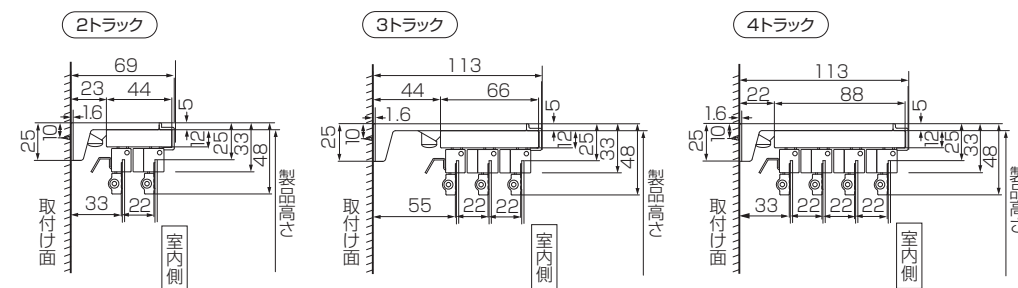
〈天井直付け〉



〈天井ブラケット付け〉

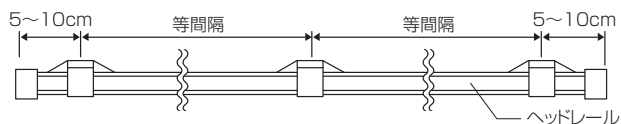


〈正面ブラケット付け〉

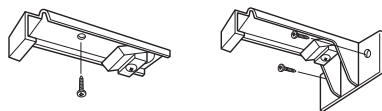


■ ブラケットの取付け位置(天井直付けの場合は不要)

- ① ブラケットはヘッドレールの両端から各5～10cmの位置が最適です。
- ② ブラケットが3個以上の場合は、その間が等間隔になるように取付けてください。



〈天井付けブラケット〉 〈正面付けブラケット〉



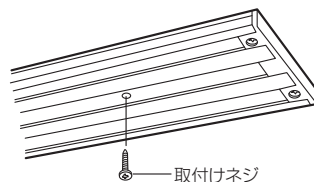
■ ブラケットの取付け方法 (天井直付けの場合は不要)

- P.9の「取付け寸法図」の図を参考にして、ブラケットを付属のブラケット取付けネジで取付けてください。

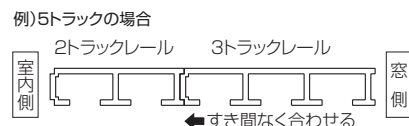
■ ヘッドレールの取付け方法

〈天井直付けの場合〉

- 天井直付けの場合は、マジックテープ面を室内側に向けヘッドレールを直接取付けネジで取付けてください。その際、取付けネジが取付け面に対して垂直になるように注意して取付けを行ってください。

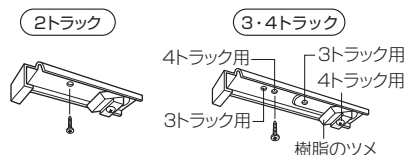


- ※ 5、6トラックの場合は、レールが2本仕様になります。コード、又はボタンがあるレールを奥(窓側)にして、2本をすき間なく合わせて取付けてください。

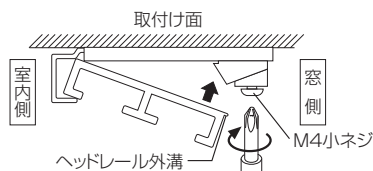


〈天井付けブラケットを使用する場合〉

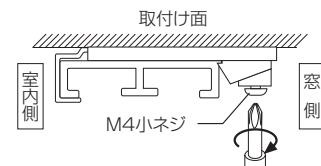
- ※ 3・4トラック用ブラケットは工場出荷の際、4トラック用に設定されています。3トラックにご使用の場合は樹脂のツメを3トラック用の穴にセットし直してご使用ください。



- ① M4小ネジをゆるめて、ヘッドレールを差し込んだ後、樹脂のツメをヘッドレール外溝にはさみ込んでください。



- ② M4小ネジを締めて、確実に固定してください。



〈正面付けブラケットを使用する場合〉

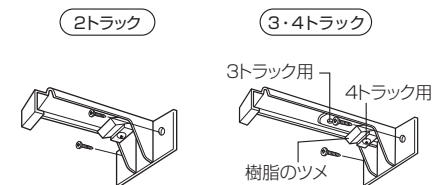
- ※ 3・4トラック用ブラケットは工場出荷の際、4トラック用に設定されています。3トラックにご使用の場合は樹脂のツメを3トラック用の穴にセットし直してご使用ください。

- P.10 〈天井付けブラケットを使用する場合〉①②に従ってヘッドレールを取付けてください。



注意

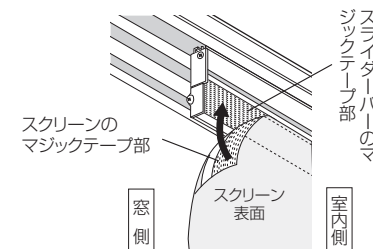
- ① ヘッドレール取付け後、確実にヘッドレールがブラケットに固定されていることをご確認ください。



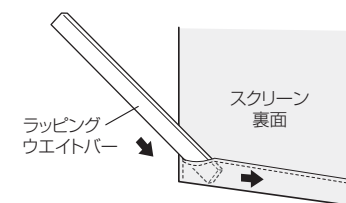
■ スクリーンの取付け方法

- ① スライダーバーのマジックテープ部にスクリーンのマジックテープを取付けてください。

- ※ スクリーンが全て水平になるように注意しながら、取付けてください。

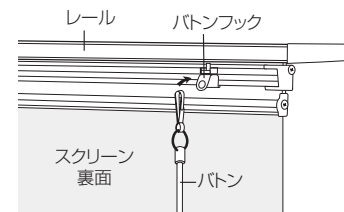


- ② スクリーンの下の袋部分にラッピングウエイトバーを差し込んでください。全てのスクリーンを同様にセットしてください。



■ バトンの取付け方法 (ボタン式の場合)

- バトン式の場合は、ボタンフックにボタンをセットしてください。



■スクリーンの取外し方法

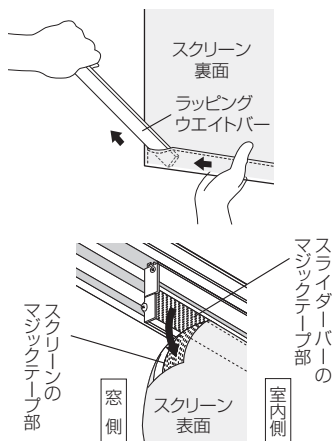
- ①スクリーンの下の袋部分を手でつかみ、取り出し口からラッピングウエイトバーを取り出してください。



注意

- ⊘ スクリーンを引っ張らないでください。スクリーンが落下する恐れがあります。

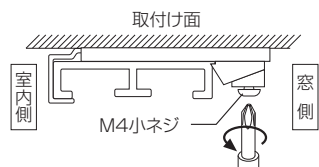
- ②スライダーバーのマジックテープ部からスクリーンをはがしてください。



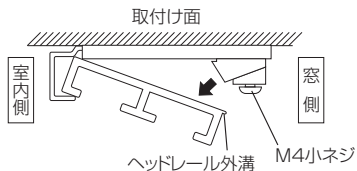
■ヘッドレールの取外し方法

〈天井付けブラケットの場合〉

- ①M4小ネジをゆるめてください。



- ②ヘッドレールを取外してください。



〈正面付けブラケットの場合〉

- 上記①②に従ってヘッドレールを取外してください。

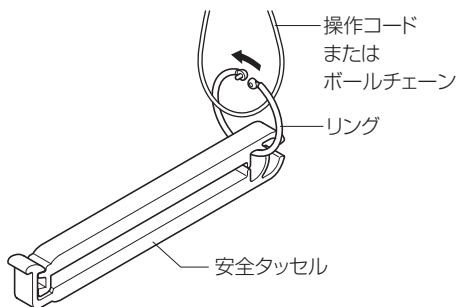


注意

- ⓘ ブラケットからヘッドレールを取外す際は、必ず手で支えながら作業してください。

■安全タッセルの取付け/使用方法

- この安全タッセルは、お子様が操作コードやボールチェーンを首や体に巻きつけて、思わぬ事故を招くことを防止するための部品です。
- 付属のリングで、安全タッセルを操作コードやボールチェーンに取付け、お子様の手が届かない位置で操作コードやボールチェーンを束ねて、留めてください。



操作方法

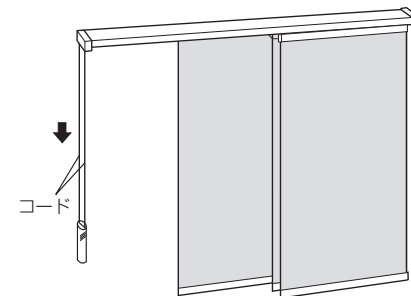
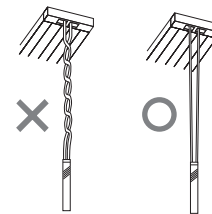
〈コード式の場合〉

- コードを下に引き、スクリーンを開閉してください。



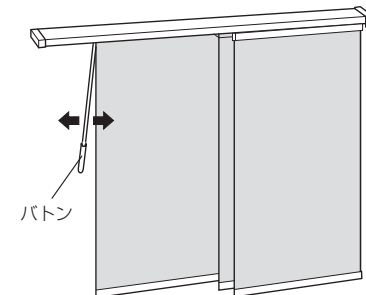
注意

- ⓘ コードがよじれた状態で操作をくり返し行くと故障の原因となります。コードのよじれをとった状態にして、操作を行ってください。



〈ボタン式の場合〉

- スクリーンの裏側に取付けたボタンを引っ張ってスクリーンを開閉してください。



スクリーンの洗濯方法 / ウォッシュابل対応スクリーンのみ

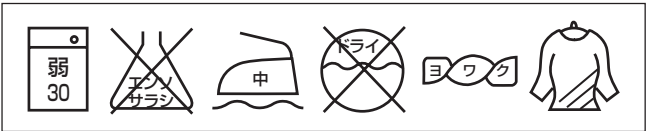
!

注意

!

ウォッシュابل対応スクリーンには、スクリーン下部に洗濯絵表示ラベルが貼付してあります。必ずこのラベルを確認した後に、洗濯を行ってください。

洗濯絵表示ラベル



■スクリーンの取外し方法

- P.12 「スクリーンの取外し方法」 ①② に従ってスクリーンを取外してください。

■スクリーンの洗濯方法

※ ウォッシュابلスクリーンは通常のスクリーンに比べ、シワや縮みが発生しにくい生地になっていますが、洗濯機をご使用の場合は、下記の点にご注意ください。

- ① スクリーンはシワにならないように他のものとは別にして、洗濯槽に入れてください。
- ② 洗濯前に水をたっぷり入れて、しばらく漬け置きしてください。
(10～20分程度)
- ③ 「手洗いコース」等弱水流のコースで、水をたっぷり入れて洗ってください。
(2槽式の場合は「弱」で 3分「洗い」～3分「すすぎ」～30秒「脱水」が目安です。)
- ④ 洗濯後はすぐに干してください。放置しますと、シワの原因になります。
(乾燥機は使用しないでください。)
- ⑤ 乾燥後、シワが目立つようであれば、シワ取り剤(アイロン仕上げ剤)を利用してあて布をし、中温で、ドライでアイロンをかけてください。アイロンは横(幅)方向にかけると、シワが伸び美しく仕上がります。

!

注意

⊘

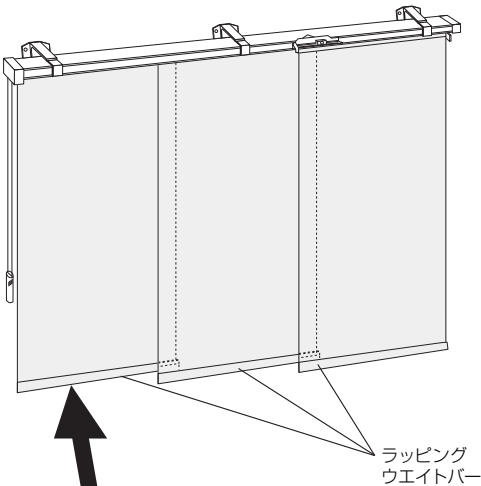
スクリーン上部のマジックテープ部にはアイロンを当てないでください。

■スクリーンの取付け方法

- P.11 「スクリーンの取付け方法」 ①② に従ってスクリーンを取付けてください。

メンテナンスシール

- お買い上げ製品には、ラッピングウエイトバーのいずれかに製品情報を記載したメンテナンスシールを貼付しております。製品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。



生産日が記載されています。

● 生産日： **年**月**日

● 品 名： ユニティMG アルミN バトン カタミギヨセ
TT-5001 2000×2000

■ 受注No: *****

TOSO

QRコード

Made in Japan

製品仕様が記載されています。

ユニティMG	アルミN	バトン	カタミギヨセ
機種名	レールカラー	操作方法	スクリーン位置
TT-5001	2000×2000		
色柄品番※	製品幅	製品高さ	

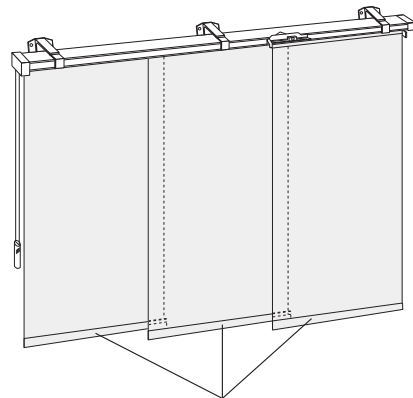
※ ユニティMGキットの場合は、色柄品番の記載はありません。

- メンテナンスシールにQRコードが印刷されている場合は、QRコード対応の携帯電話で撮影すると携帯サイトにアクセスでき、製品情報を入手することができます。
- ※ シール設置場所・QRコードへの汚れ・破損などにより、読み取れない場合もございますのでご注意ください。

交換スクリーンの発注方法

- 交換スクリーン（別売）でスクリーンを交換することができます。下記の手順でご発注ください。

- ① ラッピングウエイトバーのいずれかに、メンテナンスシールが貼ってあります。
- ② 機種名、色柄品番、製品サイズ（製品幅×製品高さ）片開き/両開きをお申しつけください。



ラッピングウエイトバー

お手入れ方法

- 日頃のお手入れは、ハタキやきれいなハンドモップ等でほこりを落としてください。
- スクリーンの汚れは、水を充分絞ったきれいな布で軽く拭きとってください。（水であっても、スクリーンは一度濡れると多少変色する場合がありますのでお取扱いには十分ご注意ください。）

梱包材の処理方法

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

●お問合せは、お買い上げの販売店または下記事業所へお申しつけください。

札幌支店	tel.011-841-3731 fax.011-841-9926 〒003-0012	札幌市白石区中央2条3丁目3-10
盛岡営業所	tel.019-645-5271 fax.019-645-5275 〒020-0134	盛岡市南青山町4-8
仙台支店	tel.022-288-8415 fax.022-287-3110 〒984-0012	仙台市若林区六丁の目中町31-35
新潟営業所	tel.025-267-1241 fax.025-231-0506 〒951-8154	新潟市掘割町3-4 川崎ビル1F
宇都宮営業所	tel.028-610-7891 fax.028-610-7892 〒320-0847	宇都宮市滝谷町20-20 SSビル1F
つくば営業所	tel.0297-52-1551 fax.0297-52-1552 〒300-2494	茨城県つくばみらい市小絹551
さいたま支店	tel.048-657-9221 fax.048-657-9191 〒330-0810	さいたま市大宮区土手町1丁目2 JA共済埼玉ビル2F
東京支店	tel.03-3552-2961 fax.03-3552-4460 〒104-0033	東京都中央区新川1丁目14-5 金盃第三ビル4F
東京西営業所	tel.03-5358-3391 fax.03-5358-3392 〒151-0073	渋谷区笹塚3-2-15 第Ⅱヘルブラザ1F
多摩営業所	tel.042-525-0431 fax.042-525-0433 〒190-0013	立川市富士見町1丁目21-18 クラン岩崎1F
千葉営業所	tel.043-245-6801 fax.043-245-6805 〒260-0027	千葉市中央区新田町10-15 誠寿ビル1F
横浜支店	tel.045-473-2700 fax.045-473-9660 〒222-0033	横浜市港北区新横浜2-17-2 フォンターナ新横浜4F
静岡営業所	tel.054-283-5011 fax.054-283-5120 〒422-8043	静岡市中田本町60-7
長野営業所	tel.026-225-5901 fax.026-225-5902 〒380-0928	長野市若里1丁目21-24 八州若里第二ビル1F
名古屋支店	tel.052-858-2420 fax.052-858-2461 〒466-0033	名古屋市昭和区台町1丁目23
金沢営業所	tel.076-240-2300 fax.076-240-3791 〒920-0364	金沢市松島2丁目209
京都営業所	tel.075-344-9611 fax.075-344-7664 〒600-8108	京都市下京区五条通新町西入る西鋸屋町18トミタビル4F
大阪支店	tel.06-6260-0821 fax.06-6260-0822 〒541-0053	大阪市中央区本町4-1-7 第二有楽ビル6F
神戸営業所	tel.078-382-0173 fax.078-382-0190 〒650-0025	神戸市中央区相生町4丁目4-14 グランダーブル2F
岡山営業所	tel.086-244-2222 fax.086-244-1612 〒700-0971	岡山市野田3丁目23-7
広島支店	tel.082-232-0439 fax.082-232-0432 〒733-0037	広島市西区西観音町9-7 なかよしビル1F
高松営業所	tel.087-868-0434 fax.087-868-0491 〒760-0079	高松市松縄町50-13
福岡支店	tel.092-947-2661 fax.092-947-2706 〒811-2414	福岡県粕屋郡篠栗町和田805-2
鹿児島営業所	tel.099-259-2911 fax.099-259-2855 〒890-0052	鹿児島市上之園町25-1 KBC中央ビル1F

◎お客様相談室 **tel.03-3552-1002**